

結果

入札情報報

特記のない落札額は税抜き。

3、200万	小糸工業 (11月11日・11月17日公表)
▽簡易公募型・平成22年度道路空間有効利用検討	560万
▽平成22年度西条管内舗	

▽一般競争・愛媛大学 (城北)第3体育館新設その他工事に伴う埋蔵文化財発掘調査他	6508万
●愛媛大学 (11月16日)	川崎地質
▽平成22年度松山外環状道路空港線余戸外地質調査(その3)	東建ジオテック (11月17日)
●愛媛大学 (11月16日)	照明設備(松山市文京町3(城北団地構内)) (低入札価格調査対象) 保留
●伊予市 (11月15日)	屋内排水管改修(西条市)

▽石綿セメント管更新工事(4工区)大洲徳森線(東大洲)(工期11年11月)	9、180万
▽林道滝上長尾線改良(戒川)(工期11年2月)	2、750万
▽大洲喜多休日夜間急患保安工事	4、928万
西田興産	1、600万

県土木施工管理技士会宇摩技術研修会行う

県土木施工管理技士会宇摩技術研修会は18日、県四国中央土木事務所との共催で、土木施工管理技術研修会を四国中央市の宇摩建設会館と三島川之江港で開催した(写真)。当日は70人が参加。講習では、錦城護謙主任の田中亮一氏による「ペーパードレーン工法の仕組みについて」の説明が行われ、現地では井原工業が企画したもの。久万高原



浜市や久万高原町など県内の5カ所で実施された。これは子供らに現場を体感してもらうことで、土木工事の目的や大切さを知つてもらおうと、愛媛県と土木学会四国支部が企画したもの。久万高

土木部工事長の鎌田浩氏による「ペーパードレー

ン工法の実施例」研修を行った。参加者は説明に對し熱心に耳を傾け、実際の施工状況を見学。質疑応答などで理解と認識を深めた。

全標協四国支部
愛媛の講習会

約40人が参加

AEDの使用手順など学ぶ

県中小建築業協会

抱いていたことを積極的に質問し、応急手当の重要性について再認識した。また受講者には普通救命講習Iの修了書が交付される。

清掃には地元ボランティアやライオンズクラブなど23の団体・企業と国土交通省・松山地方局・松山市の職員ら総勢550人が参加した。

市之井手浄水場で行った出発式では、渡邊滋夫公営企業管理者が「皆さんに水源の大切さを理解いただきこの清掃活動も14年目を迎えた。当初に比べると近年はごみが減ってきており、成果を感じています」と感謝の言葉を述べた。また、今

年で参加10回目となつた松山市公営企業局が21人、石手川ダム上流域の河川等清掃活動を開催し、松山市管工事業協同組合の面々が参加した(写真)。清掃には地元ボランティアやライオンズクラブなど23の団体・企業と国土交通省・松山地方局・松山市の職員ら総勢550人が参加した。

（NPO愛媛県建設技術支援センター）による「えひめ建設業BCP（事業継続計画）について」、高田昌資氏（愛媛県警察本部交通部交通規制課）による「交通安全施設の施工及び管理について」の講演など、1日を通じて講習を受けた。

松山市公営企業局が21人、石手川ダム上流域の河川等清掃活動を開催し、松山市管工事業協同組合の面々が参加した(写真)。清掃には地元ボランティアやライオンズクラブなど23の団体・企業と国土交通省・松山地方局・松山市の職員ら総勢550人が参加した。

松山市管工事業協同組合の面々が参加した(写真)。

550人が上流松山管工

全国道路標識・標示業協会四国支部愛媛県協会(吉田隆敏会長)は19日、松山市のテクノプラザ愛媛で技術講習会を開催、会員など約40人が参加した(写真)。冒頭、吉田会長は「協会から行政にいろんな働きかけを行っているが、要望するだけではなく、わ

かし、吉田会長は「協会から行政にいろんな働きかけを行っているが、要望するだけではなく、わ

かし、吉田会長は「協会から行政にいろんな働きかけを行っているが、要望するだけではなく、わ

かし、吉田会長は「協会から行政にいろんな働きかけを行っているが、要望するだけではなく、わ



●県建協宇摩

愛媛県建設業協会宇摩

支部(大西治支部長)は



活動を四国中央市内で行

いを実施。松山市管工事業協同組合から参加した20人は、県道179号湯山北条線方面を担当し、石手川支流の五明川で川辺のごみを拾つた。